

## 授業改善等に関する報告書（2022年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2022（後期）食生活科学科 健康栄養専攻】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
バイオテクノロジー概論	山崎 壮	現在の食糧問題から医療問題、さらには生殖医療や妊娠・避妊、生命倫理問題まで、生命科学とバイオ技術が深く関わっている事項を広くとりあげましたが、理解してもらえたようです。授業で採り上げたテーマに興味を感じてもらえたことが授業最後の皆さんのプレゼンテーマから感じられました。しかも、最後にプレゼンを行うことも好評でした。 宿題として、NHKテレビ番組録画やYouTubeの講演会録画を視聴して、動画の概要と感想をまとめてもらうことを行っていただきましたが、選んだ動画が好評であったのはよかったです。 2021年度の授業アンケートで、望ましい授業実施方法としては、過半数がオンライン授業がよいと回答していました。今年もオンライン授業がよいとの意見がありました。最後のプレゼンをしてもらう回は対面型で行うことにして、それ以外の回は知識伝達型の授業内容なので、オンデマンド型授業がよいのかなと改めて思いました。
ライフステージと食育	白尾 美佳	ライフステージと食育の最後の授業前に、授業評価アンケートの締切が設定されていたため、提出ができなかったかと思います。 皆さんの食育は大変よかったです。今後も、それぞれの職場や地域、家庭での食育につながっていくことを期待します。
ライフステージ栄養学b	於保 祐子	人のライフステージに即した栄養摂取について成人期から高齢期、そして特殊環境下について学びました。体のしくみを理解し、それに基づいて栄養について考える力を身につけて頂けたと思います。これを実際の暮らしや仕事に生かし、これからのライフステージで輝いてください。
ライフステージ栄養学実習	白尾 美佳	授業評価アンケートの締切が最後の授業前に設定されていたので、皆さん方アンケートをかけなかったかと思っています。 ノートを見ました、班の献立の他、自らの献立を作成して、調理もやってみている人がいました。大変よかったです。 今後、栄養士になってもならなくともライフステージの栄養は大切ですので、皆さん方の人生の中で生かしていければよいと思います。
栄養指導実習b	長谷川 めぐみ	全講義終了後にmanabaでの「講義評価入力」を促し、学生諸君からの正確な情報収集を目指します。
栄養指導論b	長谷川 めぐみ	学生諸君の講義評価を真摯に受け止め、講義内容の改善（時間配分、提供する資料など）に精進する所存です
栄養生化学実験	中村 彰男	1年生での実験でしたので、難しいと思われた方もいたと思います。しかし、本実験は多くの医療系の大学で皆さんと同じ1年生が行っている実験実習内容なので、ほとんどの学生は頑張っており、良いレポートを提出してくれました。私はとても嬉しかったです。全ての回は実験が始まる一週間前に、実験の目的や詳細なプロトコルを皆さんに提供させていただき、各自で事前の勉強を自主的にして下さったと思います。 実験に関しては、皆さんが将来研究者になる方ばかりではないのになぜ実験実習をする必要があるのかと思われた方もいたと思います。これは第1回の実習オリエンテーションで皆さんに話したとおり、皆さんは実験実習を通して、【観察力や洞察力の向上】【実験プロトコルを読み込み実験に挑む事で安全かつスムーズに実験工程を進めるためのマルチタスクを高める】【班員と協力して協働できる力を高める】をすることができるというのがこの実験の1番の目的です。 そして、レポートの課題は難しいけど頑張って取り組むことで、自ら考える力がついたと思います。レポート課題の解説をすると皆さん、なんだ簡単じゃないか？と思われたと思います。計算問題も皆さんが苦手とする微分方程式や指数・関数・代数は全く使っていません。小学校4年生で学び終えた四則計算で簡単に解ける課題ばかりであったことが事後の解説を聞いて納得してもらえたと思います。皆さんは物事をとても難しく考えすぎているのだと思います。自分が行った実験を順序立てて振りかえれば、小学校高学年でも解ける計算でした。また、解のない難しい問題にも実験実習を通して取り組むことにより、世の中に出たときに座学で学んだ知識を最大限活かして自分なりの答えを見つけていくという取り組みを少しは苦労して体験していただけたなら私はとても嬉しいです。 成績が良かった多くの学生はいつも実験内容や課題に関して私に開きに来ていました。これからの実習も皆さんは、億劫にならない、遠慮せずに教員を最大限利用して欲しいと思います。この大変だった実験がきっと将来の皆さんのお役に立てると私は信じています。後期の半年間お疲れさまでした。
解剖生理学b	笥 慎治	解剖生理学b（機能的側面を重視）は、解剖生理学a（構造的側面を重視）とのつながりを丁寧に説明することを心掛けて臨床医学の内容を理解する基礎的力を付けていただけるように講義を行いました。皆さんのアンケートから判断して、概ねその目的に近づくことはできたようですが、講義のわかりやすさ、聞き取りやすさ、講義のスピード等では、皆さんに満足していただくには至らなかった点がいくつかありました。このフィードバックを考慮して、今後の講義に生かして行きたいと思っています。ありがとうございました。
解剖生理学実験	笥 慎治	解剖生理学実験は、解剖生理学a、解剖生理学bの理解の基礎の上に、実物を観察して理解していただくことを目標に講義を行いました。皆さんのアンケートから判断して、概ねその目的に近づくことはできたようですが、特に講義の聞き取りやすさでは、改善の余地がありました。このフィードバックを考慮して、今後の講義を改善し、より多くの皆さんにご自分の成長を感じていただけるようにしたいと思います。ありがとうございました。

【2022（後期）食生活科学科 健康栄養専攻】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎調理	数野 千恵子	私の休職のため、半分は春休みの補講となってしまいました。出席していただきありがとうございます。このアンケートも途中での記載をお願いしましたが、調理の基本的な技術や考え方が身についたとのコメントや、授業を楽しんでもらえたようで、うれしい結果です。次年度以降も、成長を実感できるような授業を工夫していきたいと思ひます。
給食計画論	山岸 博美	課題を一生懸命取り組まれました。皆さんの成長を楽しんでいます。
給食実務校外実習	長谷川 めぐみ	全講義終了時に、manaba を介した講義評価の入力を学生諸君に促し、正確な評価の収集に努める所存です（今回回答者が1名であった）
献立学	奈良 典子	貴重なご意見有難うございます。
公衆栄養学 b	長谷川 めぐみ	全講義終了後に、manaba 講義評価入力を徹底して、正確な情報収集に努める所存です（今回は回答者が最少のため）
食のリスク管理	山崎 壮	少人数の対面授業であるメリットを活かして、教員と学生、また学生同士が活発にしかも気楽に意見交換しながら授業を進めていけたと学生も教員も感じていたことが、この授業の特徴でしょう。教員は食を取り巻く諸問題を授業で取りあげましたが、「正解」がない社会問題に対して自ら課題を見つけて調べ、自分の考えをまとめ、プレゼンすることは大変であったと推測しますが、その努力の分、授業を通して科学的根拠に基づいて食のリスクを考える姿勢が成長したと感じました。それだけ食のリスク問題に興味を持って取り組んでくれたことに教員としてお礼を言いたいです。
食事摂取基準論	長谷川 めぐみ	学生諸君からの評価を真摯に受け止め、講義改善に精進する所存です
食品衛生学 a	白尾 美佳	オンデマンド授業をいれながら、授業をおこないましたが、今後もそれぞれに効率よい授業を目指したいと思います。
食品衛生学 b	白尾 美佳	皆さん方のプレゼンテーションはそれぞれに大変よくできたと思います。食品衛生は栄養士にとって大切な科目ですので、卒業後も、どのような方法で情報を入手していけばよいか勉強になったら幸いです。
食品衛生学実験	大道 公秀	みなさん意欲的に取り組んでいたと思います。結果の理由は？その理由は？と突き詰めていかれると良いと思いました。引き続き学修の発展を期待しています。
食品加工学 b	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均に近いことから、熱心に取り組んでいただけたものと思います。
食品加工学実習	守田 和弘	実習おつかれさまでした。総合的な満足度が全体平均より高いことから、満足いただけたものと思います。
食品学 b	白尾 美佳	皆さん方のプレゼンにより、より一層理解が深まったかと思ひます。プレゼンのパワーポイントを共有してほしいとの意見がありましたので、共有いたしますので、春休み期間中に勉強してください。
生化学 b	中村 彰男	試験は管理栄養士の国試形式にして出題しましたが、皆さんはよく勉強していてとても嬉しかったです。高校の授業と違い、大学の講義はただ教科書を説明するだけの講義ではないことを一年生の前期に皆さんに話をしました。生化学 b の講義を通して、皆さんは身近な生活や社会に役立つ様な幅広い教養を身につけることが大切だと思ひます。私は全てパワーポイントによる講義を行っていますが、視覚的には良いとしても、本当はこの紙芝居形式はわかったつもりになりやすいという欠点もあると思ひます。講義をする私自身もどの様にして行うのが良いかはいつも悩みます。パワーポイントを使わない方が自分の頭の中で画像化し、先生が話している中のどの部分が大切なのかを書き出していく形式の方が本当は皆さんの力を引き出せるのかもなどと考え悩みます。私の学生の時の多くの講義はほぼ話しが大部分で、時折板書をするような形でした。来年度も皆さんからいただいたアンケートを糧によりよい講義ができるように努めていきたいと思ひます。
調理学	数野 千恵子	食品の取り扱いや特徴について、理解が深まったと感じている学生さんのコメントが多くあった事や、日常の調理に活かしていきたいのご意見があったことから、調理学に興味をもってもらえたことがうかがわれ、うれしく思っています。なぜ、このような操作をするのかを考えながら調理をするようにしましょう。また、私の休職により、対面での授業がすくなくなってしまったことが残念とのコメントもいただき、大変申しわけなく思っています。疑問点など発生しましたら、いつでも質問に来てください。

**【2022（後期）食生活科学科 健康栄養専攻】授業アンケート結果へのフィードバック**

コース名	教員名	教員からのコメント
微生物学	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均より高いことから、熱心に取り組んでいただけたものと思います。
分子生物学	松島 照彦 山崎 壮 於保 祐子 中村 彰男	<p>少しスピードが速く難しかったようですね。工夫するようにします。 [松島照彦]</p> <p>「分子生物学」は、生化学の教科書に記載されていても授業で取り上げなかった領域である細胞生物学を扱う発展的授業と位置づけて、オンデマンド授業形式で実施しました。</p> <p>履修者25名に対して授業アンケートの回答者が3名なので、授業アンケート結果では適切な判断ができないことを承知の上で述べます。</p> <p>授業アンケート結果では、「板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか？」に3名とも「どちらかといえば当てはまる」と回答しているものの、「説明はわかりやすかったですか？」に3名中2名が「どちらともいえない」、1名が「どちらかといえばあてはまる」と回答していました。「総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」には、3名中2名が「どちらともいえない」、1名が「どちらかといえばあてはまらない」と回答していました。</p> <p>教員としてはオンデマンド形式授業として成功であったと思っていますが、授業アンケート結果からは、健康栄養専攻の学生にとって難しすぎる内容だったと推測しました。</p> <p>期末課題として自分が選んだ課題について5分程度のプレゼンテーション動画を提出していただきましたが、ほとんどの発表が調べて分かった事実の紹介にとどまっていた。その事実を基にもっと自分の考えと主張があればよかったですと思いました。 [山崎 壮]</p>
臨床栄養学 a	松島 照彦	オンデマンドだったので、よく伝わらなかったと思います。来年度は対面で分かりやすい授業をしようと思います。